



JAさが

自己改革

の
取り組み



～地域に根ざした協同組合へ全力で取り組みます～

JAグループでは、平成28年度より『自己改革』に取り組んでいます。
『持続可能な農業の実現』と『豊かでくらしやすい地域社会の実現』
『JAの協同組合としての役割発揮』をめざし、

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

を基本目標とする『自己改革』を通し、
“食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合”の確立に取り組んでいます。

佐賀県農業協同組合

JAさが『自己改革』の取り組み状況

JAさがで取り組みを進めている『自己改革』について、その主な内容・成果をご紹介します。

農業者の所得増大

農業生産の拡大

に向けた取り組み

法人化を目指す集落営農組織や担い手農家の支援に取り組んでいます。

- JA佐賀中央会の『県域担い手サポートセンター』と連携して、集落営農組織の法人化を推進しました。平成28年度からの3カ年で**23組織が法人化**される見込みです。
- 平成28年4月に「農業金融推進センター」を設置し、専任担当者3名が農業法人や担い手先への訪問活動を展開しています。**生産拡大や所得増大に向けた資金計画などの提供や資金相談**など、資金に関する支援を行なっています。



新規就農希望者の就農支援に取り組んでいます。

- 新規就農希望者に研修の場を提供する『トレーニングファーム』を設置・開設しました。平成30年度末までに**3カ所(キュウリ・ホウレンソウ・トマト)**を開設し、来年度にはさらに1カ所(イチゴ)を開設予定です。平成30年11月末現在で**14名の研修生**を受け入れています。



園芸農家の生産基盤強化と機械化体系の推進により生産拡大につなげました。

- 園芸の生産基盤強化対策として「県域企画応援事業」を活用し、施設園芸やお茶などの生産基盤強化対策に取り組みました。

その結果

- 園芸施設 … 約**32.6ha**拡大
- 果樹の新植、改植、基盤整備 … 約**9.6ha**で実施
- お茶の中切り … 約**268.4ha**で実施
- 露地野菜の生産拡大に必要な機械導入 … **62件**



畜産酪農の生産基盤強化とブランドを活かした販売の強化に取り組んでいます。



- 「県域企画応援事業」を活用した生産基盤強化対策に取り組みました。肥育牛の素牛導入は3カ年で約**2,600頭**、牛舎の新築・リフォーム対策で約**1,500頭の増頭**(いずれも県内実績)など、一定の成果を収めることができました。

施設の再編整備や青果物の集荷・販売の一元体制による、コスト削減、生産者の負担軽減、販売力の強化に取り組んでいます。

- 園芸関係では青果物の販売強化と物流の効率化を目指し『青果物コントロールセンター』を設置しました。今後、物流事情が厳しくなる中で一元販売や出荷市場の集約を進め、物流コストの低減や有利販売に取り組み、生産者の販売コストの負担軽減に取り組んでいきます。

肥料、農薬の価格引き下げに取り組んでいます。

- 早期購入メリットの設定や予約価格の引き下げを実施しました。また、BB肥料原料の調達・配合の見直しや、ホームセンターなどの価格調査にもとづく弾力的な価格設定、基幹防除剤の集約による価格の引き下げなどに取り組みました。



生産コスト低減に向けフォークリフトやトラクターの導入を支援しています。

- 肥料の満車直行や大型規格の利用拡大による生産コストの低減を図るため、「県域企画応援事業」を活用したフォークリフト導入対策などに取り組みました。

➡ フォークリフトの導入台数 76台（3カ年）

- 中山間地における生産コストの低減を図るため、「県域企画応援事業」を活用したトラクター導入対策などに取り組みました。

➡ トラクターの導入台数 101台（3カ年）

専任TACによる出向く取り組み体制の強化と、営農指導員との連携強化に取り組みました。

- 営農指導員との情報共有・連携強化を図るため、タブレット端末を活用したシステム（情報共有システム）の構築に取り組みました。今後、営農指導員の指導力強化に向け、システムの機能向上や他部門との情報共有を進め、担い手の多様化するニーズに対応した事業提案を促進します。



地域の活性化

に向けた取り組み

生活文化活動と高齢者の生きがいづくりなどの取り組みを強化しています。

- 女性を対象とした女性大学を全地区で開校（毎年24回程度）し、教育文化活動の教養を深めるとともに仲間づくりに取り組みました。



- 高齢者の健康と生きがいづくりについて、助け合い組織の会員を対象とした研修会などの参加促進や活動支援に取り組みました。また、認知症サポーター養成講座を開催し、地域での見守り活動を推進しています。認知症サポーター養成講座には延べ2,781人が受講しています。

年金友の会の加入促進と活動の活性化に取り組んでいます。

- ▶ 年金獲得推進運動を展開し、年金の新規受給者を中心に年金受け取りのJA利用と年金友の会への加入推進を行なっています。
また、年金相談会を開催し年金受給者の疑問・不安を解消する取り組みや、年金友の会では各種イベントを企画し年金友の会の活性化に取り組んでいます。



JA共済3Q訪問活動の強化に取り組んでいます。

- ▶ ライフアドバイザー(LA)を中心とした3Q訪問活動を展開しています。次世代層との接点強化や組合員・利用者との信頼関係を深める取り組みを行なっています。
平成30年度末での3Q訪問活動の実施率は70%を見込んでいます。

生産組合、青年部、女性部の組織活動の活性化に取り組んでいます。

- ▶ JAさが三組織連絡協議会合同の会合を開催し、各組織代表者とJA役員の意見交換を行いました。また、女性部長と代表理事との意見交換を毎年開催し、女性部のJAに対する意見や要望をJA運営へ反映するよう努めています。



准組合員に対する対応の強化と広報活動の充実を図りました。



- ▶ 准組合員に対し農業やJA事業への理解促進を深めるため、広報誌や准組合員イベント、各地区でのイベント企画などに取り組みました。また、准組合員向けに広報誌「もぐつとさが」を年2回発行しています。

このほか、JAさがホームページにも自己改革の取り組み状況を紹介しています。
ぜひ、あわせてご覧ください。

JAさが

検索



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現へ向け、今後もJAさがの『自己改革』の取り組みについて、組合員皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。